

紹介します

まちのわだい

東中学校の改築起工式が行われました

3月30日(火)、東中学校の全面改築工事の開始に伴う起工式が行われました。
生徒代表として、土川あいさんが「思い出がたくさんつまつたなじみのある校舎との別れはさびしいですが、今ある校舎の思い出を胸に、新しい校舎では、今までの中で一番といえる思い出を作っていきたいと思えます。」と述べました。
新校舎は、体育館、柔剣道場、プール棟については、平成23年2月から、校舎棟については平成23年11月に供用開始予定です。



「井伊藩にゆかりを持つ七曲りの地域と職人文化を子どもや来街者に伝える絵本作成・周知事業」絵本の完成報告会が行われました



「七曲り」は、塗師、指物師、かざり金具師などの仏壇職人が集う地域です。NPO法人LINKSでは、この地域についてもっと知ってもらおうと、地域と職人をテーマにした、絵本を作成していました。3月30日(火)、その絵本が完成したことに伴い、

住宅用火災警報器設置推進本部が設置されました

4月1日(木)、彦根市住宅用火災警報器設置推進本部の開設に伴い、消防本部庁舎出入口に看板が設置されました。推進本部は、住宅用火災警報器の設置が義務化される平成23年5月31日まで約1年後と迫るこの機会を捉え、開設されました。
本部開設に伴い、消防長が「住宅用火災警報器の管内での設置率は低い状況にあるため、設置推進本部を設置し、一丸となって事業を展開することになりました。署員の積極的な取り組みに期待します。」と述べました。



鳥居本小学校でお花見給食が行われました

4月14日(水)、鳥居本小学校で毎年恒例となっているお花見給食が行われました。
給食の献立は、わかめごはん、肉じゃが、かみかみソテー(スルメ入り野菜炒め)、牛乳、花見だんご。
校庭の桜は散り始めていますが、給食の時間になると、児童らは、花びらが舞うなか、外で食べる給食を嬉しそうに元氣よく食べていました。



市長、教育長、北村昌造・井伊直弼と開国150年祭実行委員会会長への報告と絵本の贈呈がありました。

タウンピックアップ

湖東定住自立圏(彦根市と愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)の広域連携の具体的な取り組み

地域創造事業の提案を募集します

井伊直弼と開国150年祭では、実行委員会の主催事業のほかに、皆さんが、自ら発想・実施いただいた事業を市民創造事業と位置づけ、支援を行ってききました。
今年度、彦根市では、市民創造事業を引き継ぎ、湖東定住自立圏構想に基づく取り組みとして、湖東圏域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)を対象に、地域創造事業を募集することになりました。
皆さんの積極的な提案をお待ちしています。

募集する提案

(提案数は圏域全体の数)

- ① 地域づくり事業(32事業) 連携を進めることにより、湖東圏域の地域づくりに貢献する事業
- ② シンボル事業(2事業) その効果などが圏域全体に及ぶなど、圏域の一体感の醸成と活性化を図るにあたってシンボルとなる事業

注意事項

- ① 現行の事業をそのまま応募することはできません。
- ② 応募者が事業の主体になることを前提とした提案に限ります。
- ③ 事業実施に係る周知(PR)や参加者募集は、湖東圏域または、これを超える範囲で行うこと。

提案の方法

「地域創造事業提案書」と「提案団体等調査」(彦根市ホームページからダウンロードできます)を、観光振興課に提出してください。

審査方法

予備審査後、各種団体から提案説明を受け、さらに、提案内容の実現の可能性、地域創造事業の趣旨に沿っているかを中心に提案の採否を決定します。

※1 参加者、提案団体の構成

メンバーまたは事業内容などが湖東圏域の複数自治体にまたがるなど、湖東圏域としての取り組みがみられる場合は採択を優先します。

※2 当該事業がほかの補助金などを受けている場合は、提案数の状況により採択の調整をすることがあります。

※3 当該事業がほかの補助金などを受けている場合は、提案数の状況により採択の調整をすることがあります。

審査結果の通知

提案の採否については、審査終了後、速やかにすべての提案者に通知します。

提案内容の公表

採用された提案内容は、個人情報を除き、1市4町のホームページなどで公表します。

提案事業への支援

地域づくり事業は、採用された提案を実施するために必要な経費に対して、1事業あたり上限25万円の支援を行います。

湖東定住自立圏共生ビジョンを策定しました

定住自立圏構想は、今後、少子高齢化という厳しい状況にある地方圏において、安心して暮らし続けられる地域を形成しようとする国の政策です。
彦根市は、愛荘町、豊郷町、甲良町および多賀町とともに同構想を推進しています。昨年10月には、各市町議会の議決を経て、「湖東定住自立圏形成協定」の締結を、1市4町合同で行いました。

さらに協定に記載された事項の具体的な取り組みの内容を定める定住自立圏共生ビジョンを策定するため、1市4町の行政職員で構成する10の部会を設置し、延べ38回にわたる協議・検討を行い、共生ビジョン案を作成しました。
また、民間企業や地域の関係者を構成員とする湖東定住自立圏共生ビジョン懇談会を設置し、代表者会と8つの分科会で、延べ13回にわたって共生ビジョン案について、協議・検討いただきました。

これらの協議・検討を経て、各市町議会が3月定例会において、取組事業にかかる平成22年度当初予算を議決いただきましたことから、3月25日付けで「湖東定住自立圏共生ビジョン」を策定しましたので、お知らせします。
今年度から具体的な取り組みが展開されることから、「地域創造事業」や次ページで紹介する「地域公共交通」の取り組みのように、より具体的な情報をお伝えしていきます。

問い合わせ先 企画課 ☎30-6101番 FAX 22-1399番
nikone.shiga.jp

募集期間

5月6日(木)～6月30日(水)(必着)

審査結果通知

7月中旬ごろ

応募・問い合わせ先

観光振興課 ☎30-6120番 FAX 22-1399番

Eメール kanko@nacity.nikone.shiga.jp